

# 「取組方針」に基づく取組状況や取組事例について

令和2年6月15日

球磨川水系水防災意識社会再構築会議

八代市、人吉市、芦北町、錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村、相良村、五木村、  
山江村、球磨村、熊本県、気象庁熊本地方气象台、国土交通省九州地方整備局

# 目次

1. 取組方針のとりまとめ経緯
2. 概ね5年で実施する取組の進捗
  - 八代河川国道事務所
  - 熊本県
  - 球磨村、山江村、相良村
  - 各市町村

# 1. 取組方針のとりまとめ経緯

# 水防災意識社会 再構築ビジョンとは

関東・東北豪雨を踏まえ、新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」として、全ての直轄河川とその沿江市町村（109水系、730市町村）において、平成32年度目途に水防災意識社会を再構築する取組を行う。

**<ソフト対策>** ・住民が自らリスクを察知し主体的に避難できるよう、より実効性のある「住民目線のソフト対策」へ転換し、平成28年出水期までを目途に重点的に実施。

**<ハード対策>** ・「洪水を安全に流すためのハード対策」に加え、氾濫が発生した場合にも被害を軽減する「危機管理型ハード対策」を導入し、平成32年度を目途に実施。

## 主な対策

各地域において、河川管理者・都道府県・市町村等からなる協議会等を新たに設置して減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進する。

**<危機管理型ハード対策>**  
○越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう堤防構造を工夫する対策の推進  
いわゆる粘り強い構造の堤防の整備

<被害軽減を図るための堤防構造の工夫(対策例)>



天端のアスファルト等が、越水による侵食から堤体を保護  
(鳴瀬川水系吉田川、平成27年9月関東・東北豪雨)



**<洪水を安全に流すためのハード対策>**  
○優先的に整備が必要な区間において、堤防のかさ上げや浸透対策などを実施

**<住民目線のソフト対策>**  
○住民等の行動につながるリスク情報の周知  
・立ち退き避難が必要な家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表  
・住民のとるべき行動を分かりやすく示したハザードマップへの改良  
・不動産関連事業者への説明会の開催  
  
○事前の行動計画作成、訓練の促進  
・タイムラインの策定  
  
○避難行動のきっかけとなる情報をリアルタイムで提供  
・水位計やライブカメラの設置  
・スマホ等によるプッシュ型の洪水予報等の提供

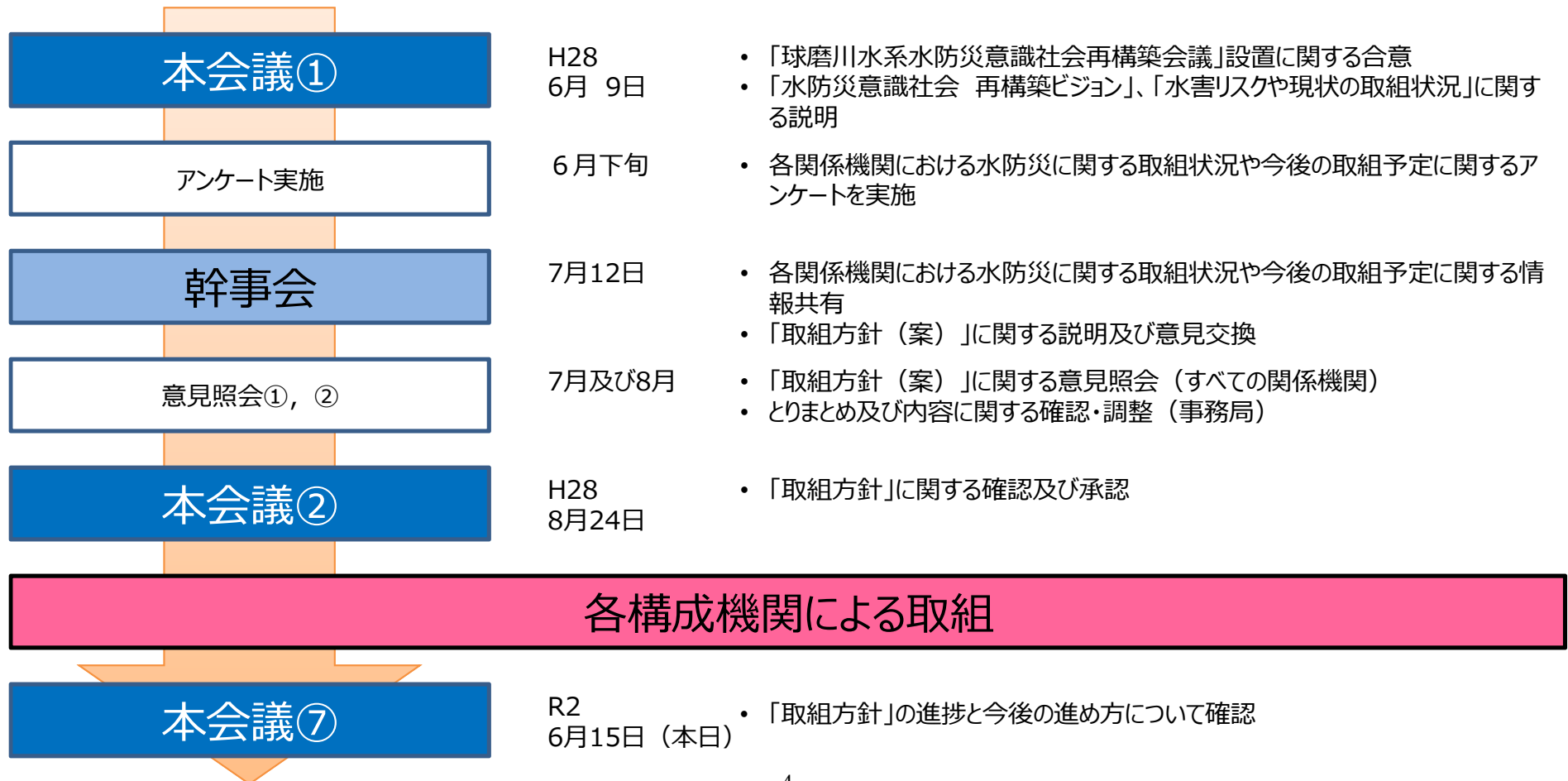


家屋倒壊等氾濫想定区域※

※ 家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域

## 球磨川流域における取組方針のとりまとめ経緯

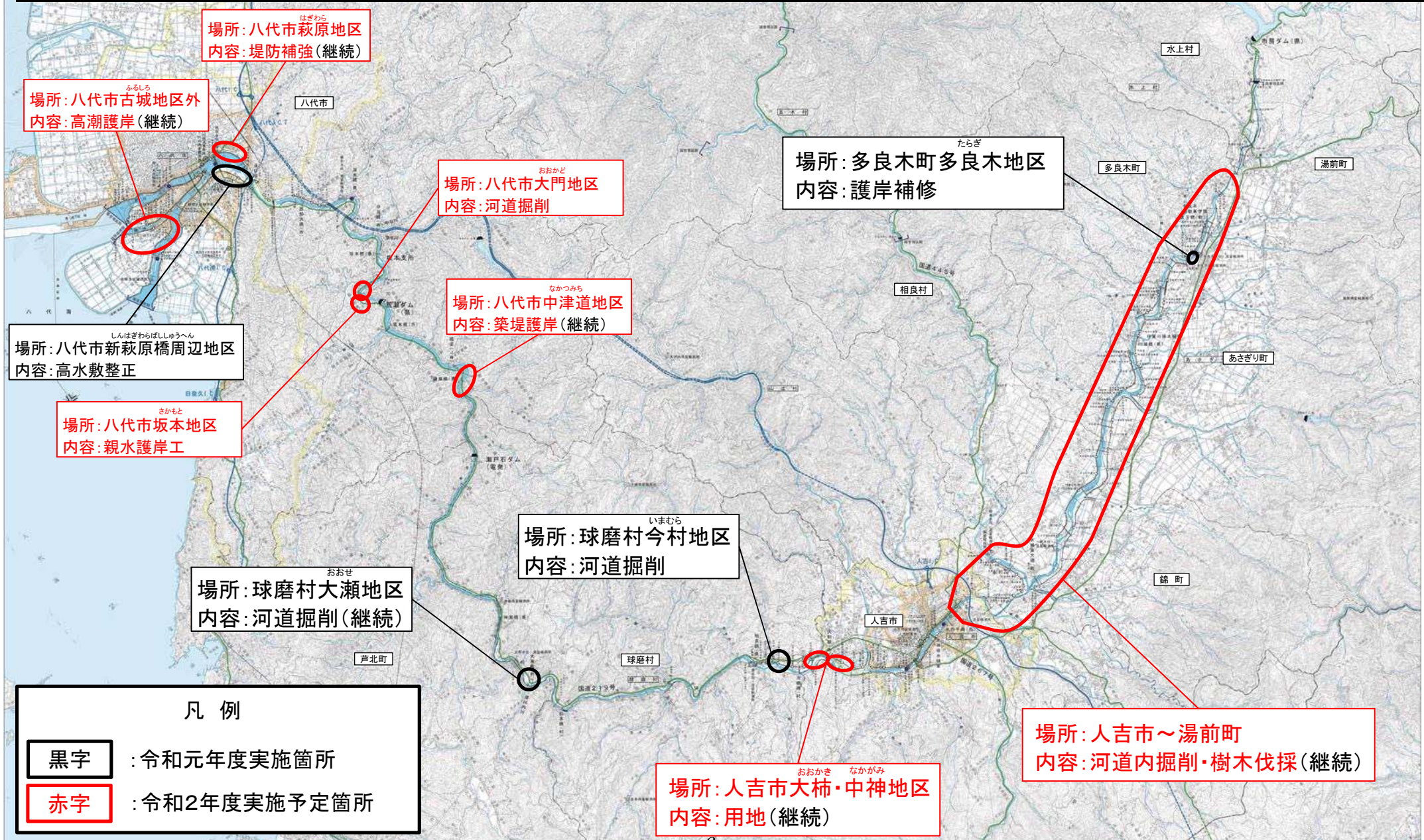
平成28年8月24日に第2回本会議を開催し、取組方針が承認・策定されました。  
取組方針に基づき、各構成機関において組織的、計画的、継続的に取り組みます。併せて、本会議を毎年出水期前に開催し、取組の進捗状況の確認・見直し等、継続的なフォローアップを行います。



## 八代河川国道事務所の取り組み

- 洪水を安全に流すためのハード対策
- 平時からの住民等の防災意識醸成に対する取組
  - 地区タイムラインの取組：N
  - 小学校を対象とした水防災教育：M
  - 水防災情報の普及・啓発：M

## 令和元年度事業実施箇所及び令和2年度事業実施予定箇所

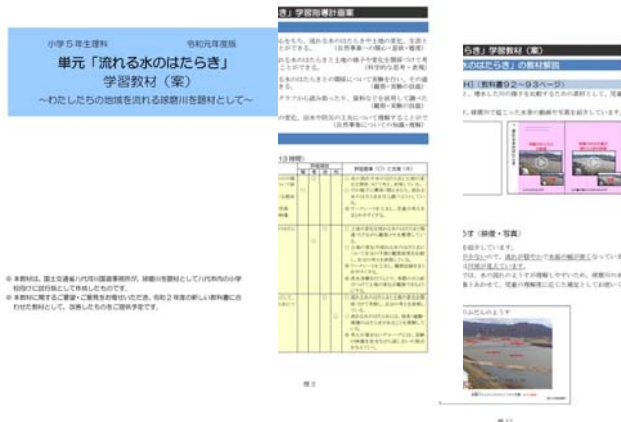


## ▶ タイムライン作成を支援（継続して実施）：N

- ・ 八代市：コミュニティタイムライン（太田郷校区：令和元年試行版完成、宮地校区：令和2年試行版完成予定）
- ・ 人吉市：マルチハザードタイムライン（行政版：令和2年試行版完成予定、地域版：令和3年試行版完成予定）

## ▶ 防災教育の推進（令和元年度より実施）：M

- ・ 防災教育のための教材を八代市・氷川町すべての小学校へ提供
- ・ 小学5年生の理科（「流れる水のはたらき」）教材を作成し、河川協力団体とともにゲストティーチャーとして球磨川を題材とした授業へ協力
- ・ **教科書改訂に合わせた防災教育教材の見直しを実施・配布予定（令和2年度）**
- ・ 引き続き、教育委員会を通じ、防災教育への取組を推進



- ・教科書に合わせて「球磨川を題材とした教材」を作成
- ・指導計画に合わせた「球磨川の写真」や「図表データ」を提供
- ・併せて、流水実験模型、流域立体模型を貸出



## ▶ 啓発活動

- 水防災意識の向上に向けて、パネル展や特別行事の開催などの啓発の取り組みを推進

### 《内容案》

- **洪水被害の発生状況や傾向、特徴**
  - 主な洪水被害や生活・地域経済への影響事例
  - 気候変動に伴う相対的な安全度低下の予測
  - ダムによる洪水調節、異常洪水時防災操作（いわゆる緊急放流）
  - 既存ダムの洪水調節機能強化の取り組み
- **球磨川における水災害リスク**
  - 浸水想定区域図や土砂災害警戒区域図
- **ハード対策の現状**
  - 河川整備（3カ年緊急対策）の実施状況
- **ソフト対策（自助、共助）の在り方**
  - 警戒レベルと避難行動
  - 防災情報の情報伝達、入手方法、防災教育



「ヒストリアテラス五木谷」で開催されている「防災展」  
(令和2年6月1日～6月30日)

## 熊本県の取り組み

- 平時からの住民等の防災意識醸成に対する取組
  - ・ 要配慮者利用施設を対象とした水防災教育等の実施:M
- 防災活動の着実な実施・連携体制の構築にかかると事項
- 避難を判断するための伝達事項
  - ・ 水位情報周知河川における氾濫発生情報の発表について
  - ・ 球磨管内におけるホットラインのタイミング
  - ・ 市房ダムの取り組み:I



※洪水浸水想定区域「有」かつ地域防災計画における  
要配慮者利用施設の記載「無」の場合のみ回答

市町村名	市町村の特性		全体の進捗状況												地域防災計画の更新予定	
			【施設分類ごとの内訳】													
	洪水浸水想定区域指定の有無	地域防災計画における要配慮者利用施設の記載の有無	①:対象施設数			②:避難確保計画作成済施設数			③:計画に基づく訓練実施済施設数			【施設分類ごとの内訳】			計画に記載が必要な施設の有無	記載予定年度
①			②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③			
八代市	有	有	422	16	15	47	0	0	276	16	15	99	0	0		
人吉市	有	有	41	10	0	3	0	0	29	9	0	9	1	0		
芦北町	有	有	44	14	4	6	3	3	22	7	1	16	4	0		
錦町	有	無													有	令和2年度
あさぎり町	有	有	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0		
多良木町	有	無													有	令和2年度
湯前町	有	無													無	
水上村	有	無													無	
相良村	有	有	3	1	1	0	0	0	3	1	1	0	0	0		
五木村	無	無														
山江村	有	有	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0		
球磨村	有	無													有	令和2年度
計			537	53	32	60	6	6	347	39	23	130	8	3		

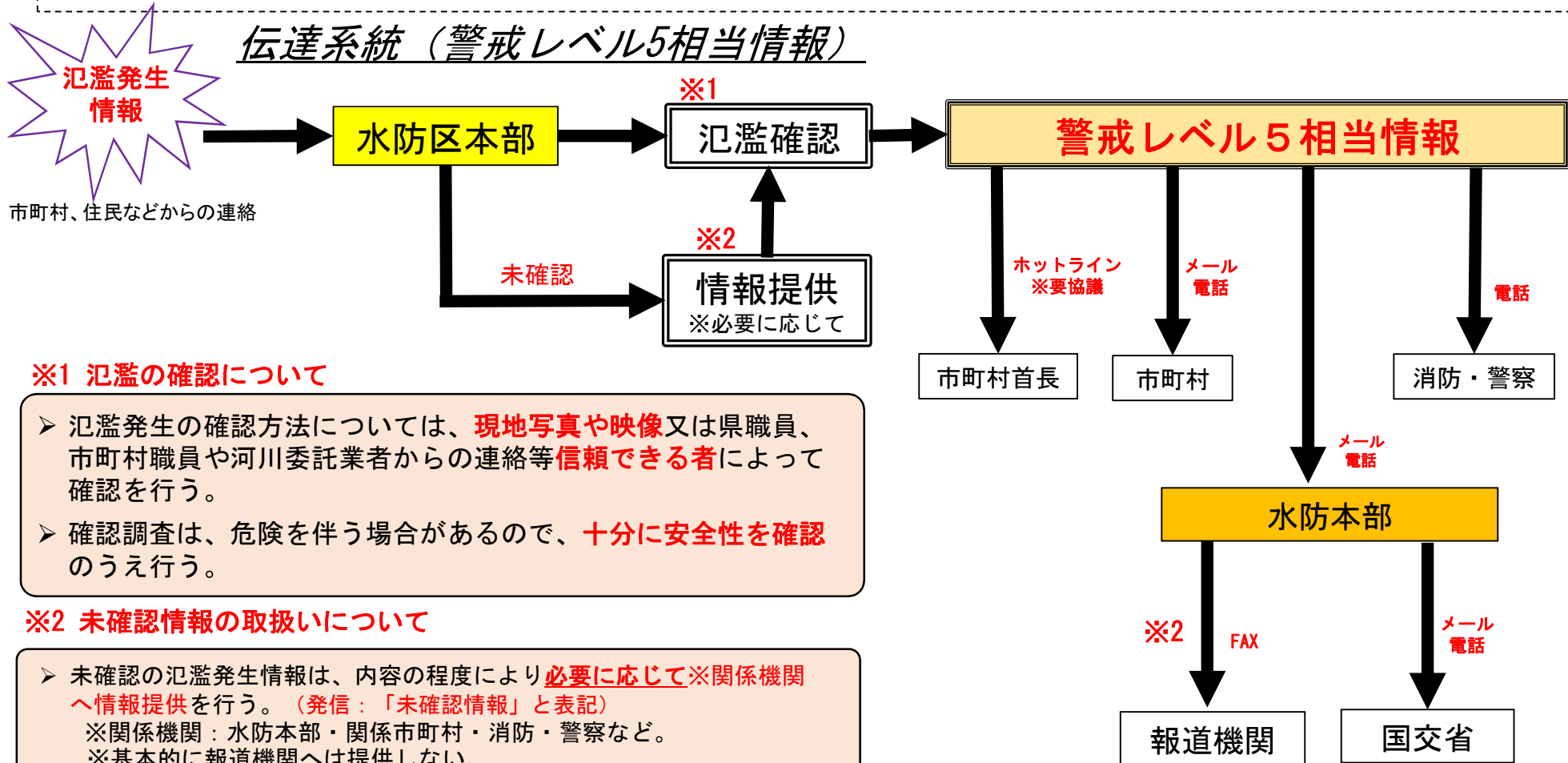
避難確保計画作成済施設数の割合 (②/①) = 約9.9%



**【警戒レベル5相当情報】従前の氾濫発生情報の発信をより明確化**

水位周知河川における氾濫発生情報は、可能な範囲で警戒レベル5相当情報として発表する

**伝達系統（警戒レベル5相当情報）**



**※1 氾濫の確認について**

- 氾濫発生の確認方法については、**現地写真や映像**又は県職員、市町村職員や河川委託業者からの連絡等**信頼できる者**によって確認を行う。
- 確認調査は、危険を伴う場合があるので、**十分に安全性を確認**のうえ行う。

**※2 未確認情報の取扱いについて**

- 未確認の氾濫発生情報は、内容の程度により**必要に応じて※関係機関**へ**情報提供**を行う。（発信：「未確認情報」と表記）  
 ※関係機関：水防本部・関係市町村・消防・警察など。  
 ※基本的に報道機関へは提供しない。

- 警戒レベル5相当情報発表河川は、基本的に水位周知河川を対象とする。  
 ただし、頻繁に越水する河川は、関係市町村と協議のうえ、各水防区本部において別途基準を設けることもできる。
- その他の河川については、従前どおり。（参考情報として関係機関の情報提供に努めるものとする。）

# 球磨管内におけるホットラインのタイミング（河川）



- ・平成30年度から運用を始めており、水位周知河川において、基準のタイミングに達した際に、土木部長から市町村長に直接、河川水位情報を提供している。
- ・令和2年度から氾濫発生時にもホットラインを実施します。

## 球磨管内でのホットライン対象河川及びタイミング

### ○ホットライン構築河川（水位周知河川＝水防警報河川）

- ・万江川（[人吉市](#)、[山江村](#)）、胸川（[人吉市](#)）、川辺川（[相良村](#)、[錦町](#)） 湯山川（[水上村](#)）

### ○ホットラインのタイミング

#### ①「氾濫危険水位」到達時

（※水防待機班からは事前の連絡として「避難判断水位」到達時にも土木部長へ連絡）

#### ②「氾濫発生」時（※R2から追加）

## ■対象河川 及び 氾濫危険水位一覧

河川名	観測所名	対象市町村	氾濫危険水位
万江川	万江川	人吉市	H=3.08m
胸川	胸川		H=2.66m
万江川	万江川	山江村	H=3.08m
川辺川	県川辺	相良村	H=4.00m
川辺川	県川辺	錦町	H=4.00m
湯山川	湯山	水上村	H=7.08m

# 球磨管内におけるホットラインのタイミング（土砂災害）

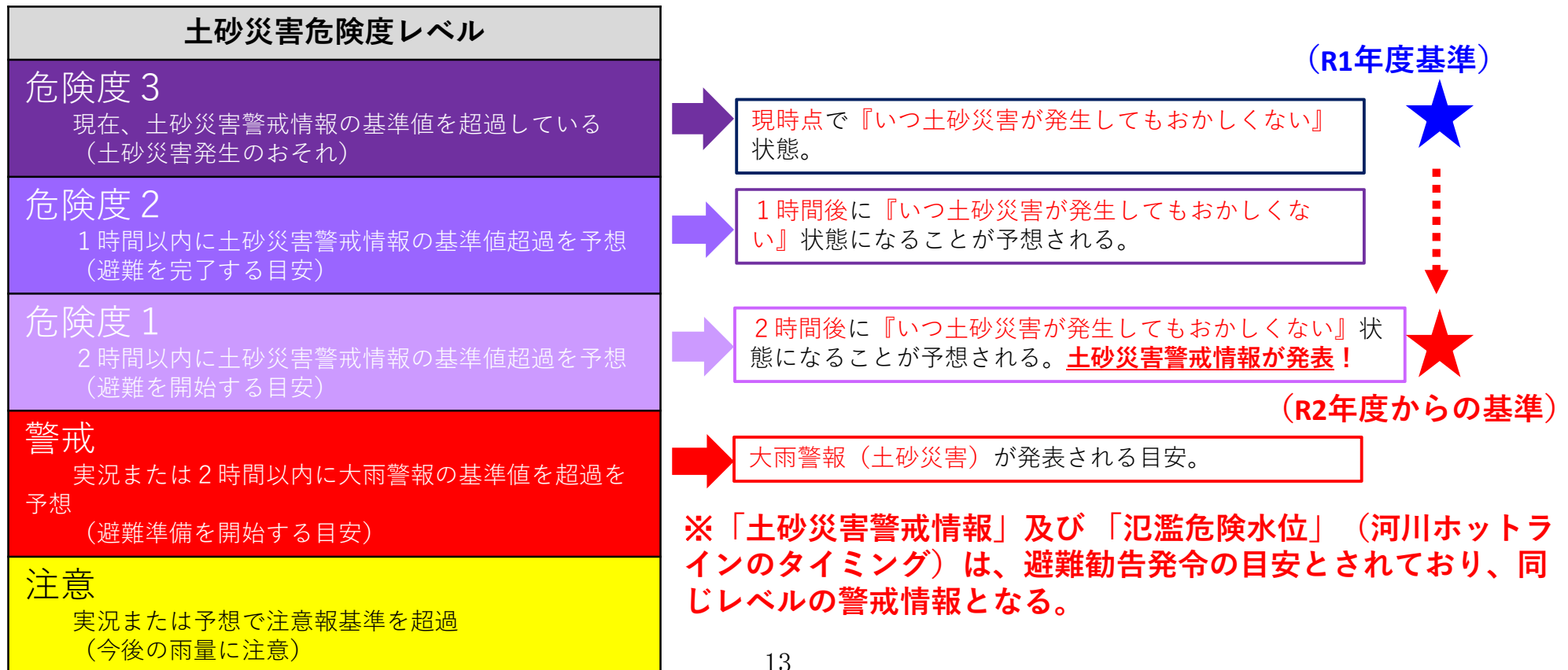


- ・熊本県では、昨年度から人命に関わる可能性の高い「土砂災害」に関しても、R1年度からホットラインを構築し、運用している。
- ・令和2年度から「土砂災害警戒情報」発表時に変更します。

## 球磨管内でのホットライン（土砂災害）のタイミング

### 「土砂災害警戒情報」が発表された時点

※R1年度は「土砂災害危険度レベル3」に達した時点としていたが、R2年度からは避難勧告発令の目安である「土砂災害警戒情報」発表時に変更





## 市房ダムの予備放流(試行)実施について

球磨川の治水対策を検討してきた「ダムによらない治水を検討する場」（平成21年1月～平成27年2月）で積み上げた市房ダムの有効活用策の一環である予備放流<sup>※1</sup>（試行）について、平成30年度から実施しています。

※1「予備放流」とは、洪水が予想される場合に、ダムに貯め込む量を増やすため、普段は農業用水などに使うために貯めている水を、あらかじめ放流することです。

### ○実施内容

- 期 間：6月11日～7月21日（当面の間の実施予定期間）
- 実 施 条 件：24時間の降雨量が200mm以上と予想される時かつ  
ダムへの流入量が300m<sup>3</sup>/sを超えると予想される時  
(ただし、湯水等によりダムの貯水位が低い場合には実施しません)
- 洪水調節増加容量：1,900千m<sup>3</sup>※2
- 最 大 放 流 量：300m<sup>3</sup>/s
- 周 知 方 法：熊本県ホームページ  
流域市町村（八代市、芦北町、球磨村、人吉市、相良村、錦町、  
あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村）の広報誌

※2「ダムによらない治水を検討する場」では、予備放流の最終目標として約9,700千m<sup>3</sup>の洪水調節容量を増量することになっていますが、準備や放流に要する時間、降雨予測の精度を踏まえ、今回の試行では、約1,900千m<sup>3</sup>（約1/5程度）の洪水調節容量を増量します。

# 市房ダムの取り組み（予備放流の試行）

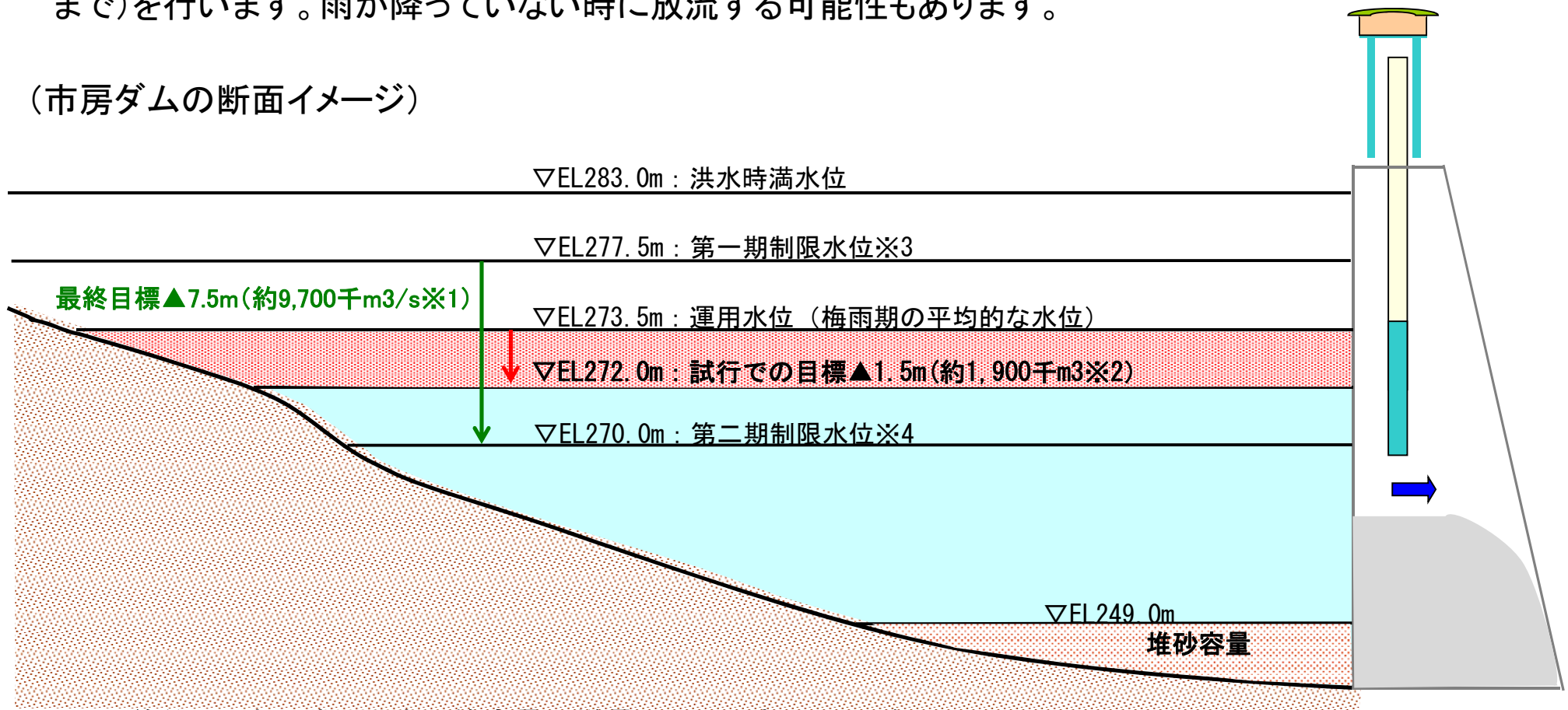


## 予備放流(試行)とは

「予備放流」とは、洪水が予想される場合に、ダムに貯め込む量を増やすため、普段は農業用水などに使うために貯めている水を、あらかじめ放流することです。

予備放流を行う場合は、通常の放流と同様に、サイレンや警報車による警報活動(水上村から人吉市まで)を行います。雨が降っていない時に放流する可能性もあります。

(市房ダムの断面イメージ)



※1 最終的に目標とする洪水調節容量の増量(P2の下表ケース3参照)

※2 今回の試行で目標とする洪水調節容量の増量(P3の回答参照)

※3 6月11日～7月21日までの貯水池の最高水位(EL277.5m)

※4 8月1日～9月30日までの貯水池の最高水位(EL270.0m)



# 【熊本県】 球磨川水系における治水対策(市房ダムで初の予備放流)

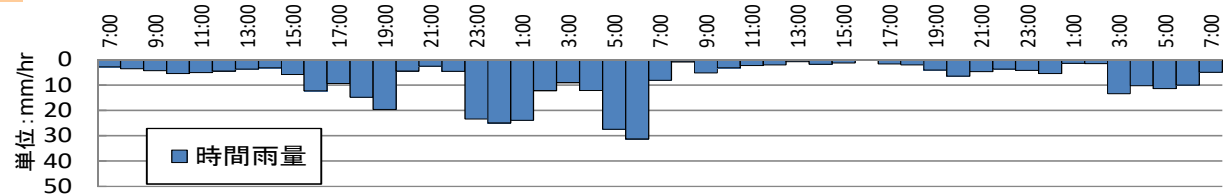


市房ダムの予備放流は、球磨川の治水対策を検討してきた「ダムによらない治水を検討する場」(平成21年1月～平成27年2月)で積み上げた対策の1つとして、平成30年度から試行開始。

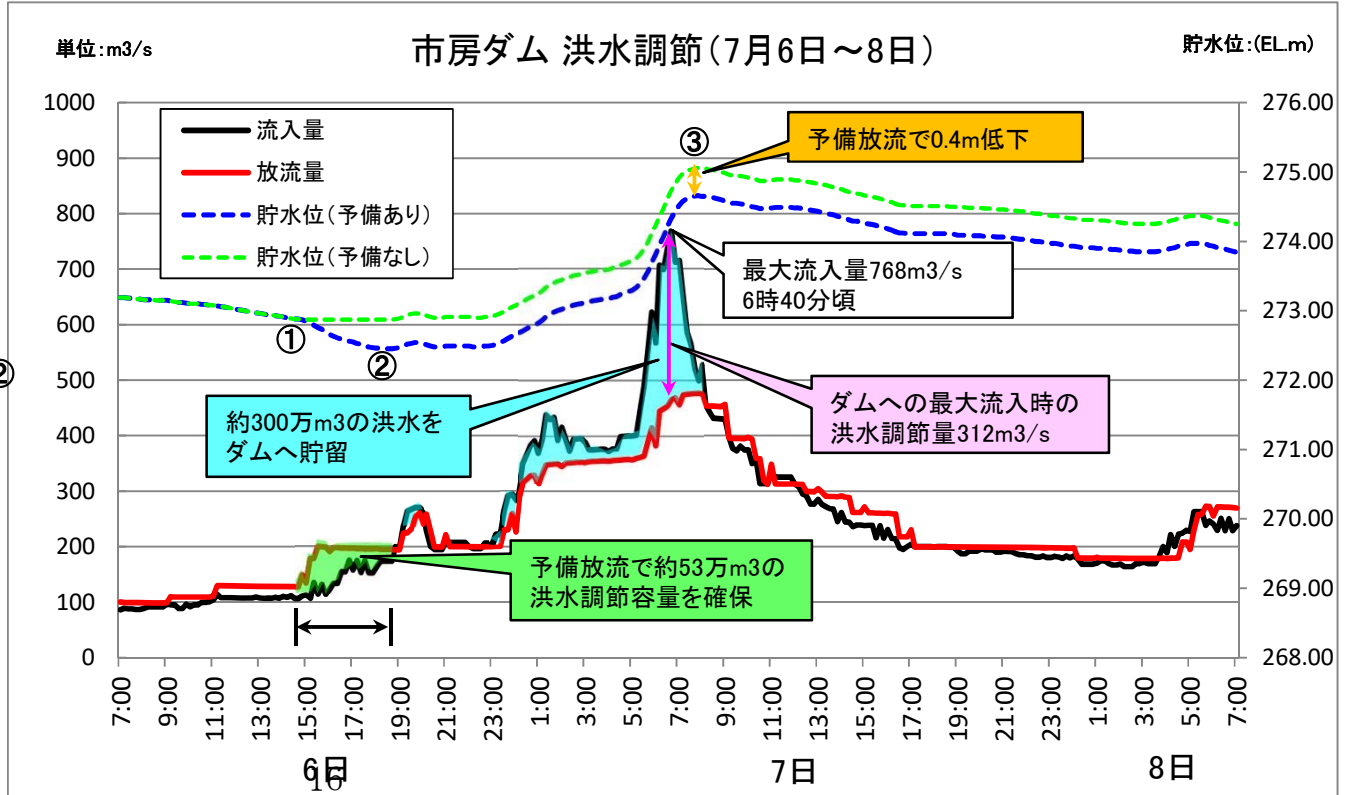
平成30年7月豪雨では、初の予備放流を約4時間(7月6日(金)14時42分～18時47分)実施し、**約53万m<sup>3</sup>の洪水調節容量を確保**。

なお、今回の洪水調節により、下流の多良木観測所地点での水位を58cm下げており、氾濫危険水位の超過を回避できたものと推測。

(参考) 予備放流の条件：9時間後からの24時間雨量が200mmを超えると予測、9時間後の流入量が300m<sup>3</sup>/sを超えると予測



ダム	洪水期	今回	サーチャージ水位
	治水容量のみ 【850万m <sup>3</sup> 】	空容量 【1,250万m <sup>3</sup> 】	EL283.00m
	治水容量 または 利水容量 【980万m <sup>3</sup> 】	貯留量 【約300万m <sup>3</sup> 】	EL277.50m 今回の最高貯水位 EL274.66m ③
			EL272.87m ① 予備放流 (53万m <sup>3</sup> ) ② EL272.45m
			EL270.00m
利水容量のみ 【1,680万m <sup>3</sup> 】		EL249.00m 最低水位	
堆砂容量 【510万m <sup>3</sup> 】	堆砂容量 【510万m <sup>3</sup> 】		



# 市房ダムの取り組み（ホットライン）

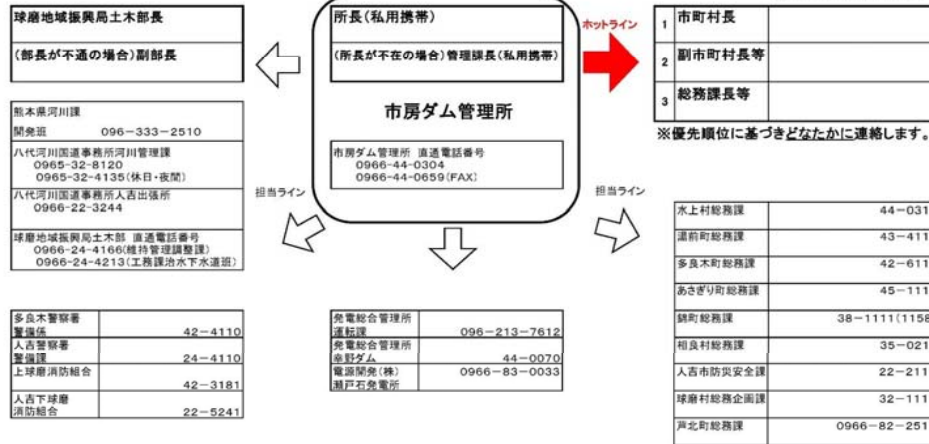


(球磨水防区減災対策協議会)

取扱注意

## 令和2年度 市房ダムホットライン 連絡体制表

【〇〇市町村】



※ 担当ラインでは、防災メールまたはFAX等による情報提供となります。  
※ 問い合わせ等は、市房ダム管理所直通電話へお願いします。

※ ホットラインとは  
 ・市房ダムで、洪水調節能力を超える流入量が見込まれる際に、上記連絡体制によりダム操作に関する情報を提供します。  
 ・ホットラインによる情報提供は、市町村長に対して避難勧告等の発令を直接促すものではなく、発令判断を支援するための情報提供です。  
 ・球磨川河川水位等の情報は別途、河川管理者から情報提供されます。

**第①段階(異常洪水時防災操作開始事前通知)**  
 ・貯水位の水位が洪水調節容量の8割に相当する水位EL280.70mを超えること及びその後さらに洪水時最高水位EL283.00mを超えることが予測される3時間程度前。

**第②段階(異常洪水時防災操作開始事前通知)**  
 ・貯水位の水位が洪水調節容量の8割に相当する水位EL280.70mを超えること及びその後さらに洪水時最高水位EL283.00mを超えることが予測される1時間程度前。

**第③段階(異常洪水時防災操作開始通知)**  
 ・貯水位の水位が洪水調節容量の8割に相当する水位EL280.70mに達し、今後さらに洪水時最高水位EL283.00mを超えることが予測される場合。





## 取組事例：ダム下流（県管理区間）における浸水想定図作成

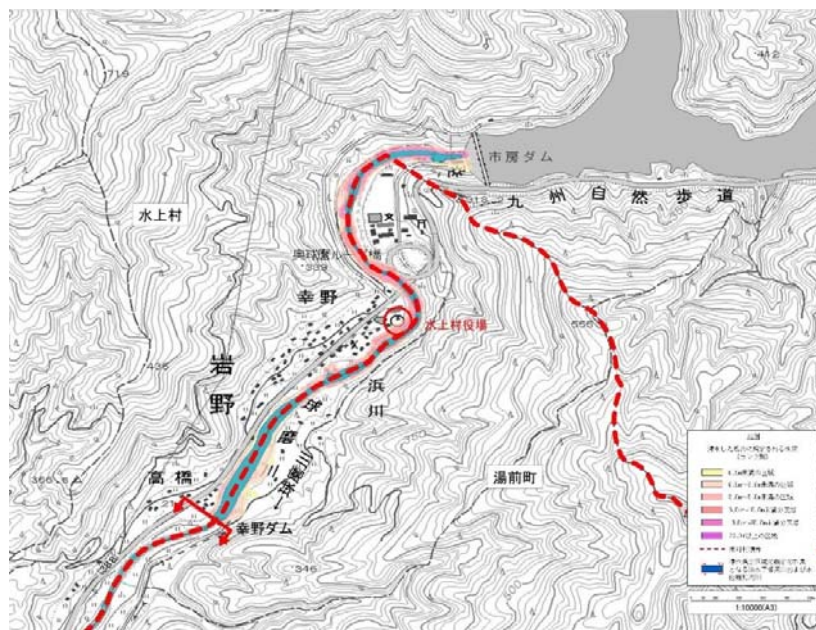


図6-1-1 市房ダム下流（幸野ダム～市房ダム区間）浸水想定図（想定最大規模）

### 【市房ダム下流浸水想定図内容】

球磨川の水位周知区間（市房ダム～幸野ダム）を作成

- 「異常豪雨の頻発化に備えたダムの洪水調節機能に関する検討会」の提言を受けダム下流の浸水想定図を作成
- 図面の種類は計画規模（L1）と想定最大規模（L2）の2種（左図は想定最大規模）
- 令和2年5月までに関係自治体に、図面の提供を行っている。

## 取組事例：ダムの操作に関する関係自治体や地域住民への説明

「取組内容」＜令和2年（2020年）5月末時点＞

- 関係市町村、地域住民に対しダムの機能や役割の説明を行うため、市房ダムの模型を作成した。
- ダム見学、出前出張等でも、視覚的に理解を深めてもらえるようダム模型を使用して、ダムの機能・操作（特に「計画規模を超える洪水時の操作」）について説明を行って参ります。





## 取組事例：ダムからの放流通知文の改訂

情報7  
ダム連絡

**至急** 市房ダム

第 4 号  
情報

**重要情報 異常洪水時防災操作 3時間前**

令和2年(2020年)5月20日15時10分  
市房ダム管理所  
発信者：山口

<ダム操作に関する連絡>

市房ダムでは、現在、洪水調節を行っています。  
今後、さらに大きな洪水が発生するおそれがあり、ダムの貯水容量を超えるおそれがあるため、5月20日15時0分頃から、放流量を増加させます(異常洪水時防災操作)。\*

なお、放流量を増加させる場合は、おおむね1時間前に通知をしますので、ダムからの連絡等に注意してください。  
今後の降雨状況により、時間が前後する可能性がありますので、ご注意ください。  
この操作後に内閣府が定める警戒レベル4相当<sup>※1</sup>が見込まれます。

※1  
**警戒レベル4相当 (内閣府)** **ダム下流の河川で水量が増加し、氾濫のおそれあり。避難勧告等の措置が必要**

【ダム情報】  
現在時刻:5月20日13時10分

流入量: 876.0 m<sup>3</sup>/s  
(1時間前より約 26.0 m<sup>3</sup>/s増加)

ダム水位: EL 280.10m  
(1時間前より約 0.4 m上昇)

全放流量: 575.0 m<sup>3</sup>/s  
(1時間前より約 15.0 m<sup>3</sup>/s増加)

貯水率(有効容量): 約 106%  
(1時間前より 2 %上昇)

※値はすべて速報値

ダム情報のホームページ インターネット: <http://www.bousai.pref.fukunamamoto.jp> 携帯サイト: <http://www.bousai.pref.fukunamamoto.jp/emp>

※ 異常洪水時防災操作とは、大きな出水によりダムの洪水調節容量を使い切る可能性が生じた場合、放流量を徐々に増加させ、流入量と同程度の流量を放流する操作のことです。

「取組内容」: 受令側の立場を主眼に、文面を明瞭簡潔に見直しました。

○より切迫感が伝わるように「至急」「重要通知」などを表示

○短時間で内容を伝達させるため、通知内容を明瞭簡潔に見直し

○警戒レベルの表示  
(避難勧告等に関するガイドライン改訂にあわせたレベルの表示(内閣府規定基準))

○自治体が発令する避難勧告等の判断に必要な情報を記載

## 球磨村の取り組み

- 避難行動、水防活動に資する基盤などの整備
  - ・ 防災拠点の整備：D
- 平時から平時からの住民等の防災意識醸成に対する取組
  - ・ 地域の防災に関する情報について広報誌への掲載：L
  - ・ 地域住民や学校への水防災教育等の実施：M

# 旧高沢小学校を防災拠点として整備

着 工 前



西側より望む

竣 工



西側より望む

# 広報誌に「防災管理官コラム」を掲載

## 防災管理官コラム

### 感染症に係るタイムライン

新型コロナウイルスは、昨年11月に中国武漢市で発生が確認されて以降、またたく間に全世界に拡散しています。日本ではことし1月に初の感染者を確認し、熊本県では2月22日に初めての感染者を確認しました。

球磨村役場は、2月22日に、新型コロナウイルス感染症対策本部を立上げ、結節毎に情報を共有し今後の対応方針を決定しています。現在の段階は、タイムラインのステージ3に相当します。

ちなみに、ステージ4は球磨郡市（近傍含む）に感染者が発生した場合、ステージ5は球磨村で感染者が発生した場合としていきます。

対策本部では、球磨村で感染者が発生する最悪の事態を想定し、先行的に対応策を検討するとともに試行しています。

その一例を紹介します。①防災無線、ホームページ、広報くまむらなどで継続的に住民へ情報提供を行う。

- ②来庁者の安全を最大限確保する施策を徹底すること。
- ③住民への不要不急な外出自粛要請等をお願いすること。
- ④行事、会議、イベント等の中止、自粛及び延期を要請すること。
- ⑤役場機能を維持するため、在宅勤務、会議室を利用した

問い合わせ 中渡防災管理官  
☎(32)1111  
問合わせ  
分散勤務等、3密回避処置の徹底を図ること。  
などが挙げられます。  
新型コロナウイルス感染症への対応は、長期戦の様相を呈してきました。  
引き続き、村民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

[2020. 5. 1現在]

感染症に係るパンデミックタイムライン（抜粋）					
ステージ	1	2	3	4	5
状況	・近隣国でウイルス発生 ・日本で感染の恐れ	・日本で感染者の確認	・熊本県で感染者が発生	・球磨郡市（近傍含む）で感染者が発生	・球磨村内で感染者が発生
月日	2019.12	2020.1	2020.2.22		
目的	情報収集	体制の確認	球磨村から感染者を出さない		命を守る
球磨村役場 新型コロナウイルス感染症対策本部	・情報収集	・保健所との連携 ・情報収集	・対策本部を開設・維持・運営 ・防災無線、ホームページ等による村民への正確・迅速な情報提供 ・来庁者の安全を最大限確保するための施策を徹底する。 ・住民への不要不急な外出自粛要請等 ・行事、会議、イベント等の中止、自粛及び延期要請 ・役場機能を維持するため、職員の在宅勤務、会議室を利用した分散勤務等、3密回避処置の徹底		・密閉勤務開始 ・同左の強化及び徹底
学校・幼稚園等			・教育停止 ・見守り活動 ・学童保育		・同左 ・教育再開への準備開始

### 避難時の感染症対策

新型コロナウイルスの脅威が続く中、これから雨の多い季節を迎えます。いつ地震に見舞われるかもわかりません。災害時の感染症対策を考えておく必要があります。避難時に多くの住民がまつまると密閉空間で密集状態を生み、感染拡大の危険性が高まりやすくなります。避難所での感染リスクを恐れるあまり、住民が避難をためらうことがあってはなりません。村では避難者が増加した場合の対応として、避難者を分散させるため、6カ所の指定緊急避難場所のほか、学校及び公民館などへの分散避難を

予定しています。避難所スタッフが現地で指示しますので、指示された避難場所へ分散避難をお願いします。また、避難時は、受付で健康チェックを行うとともに、定期的に健康状態を確認します。マスクの着用、体温計を持参するなど、ご協力をお願いします。このほか、住民の対策として、公的な避難場所の過密を避けるため、より安全な親類宅や知人宅などがあれば避難先とさせてもらうよう、事前にご相談しておくことも必要です。いざという時、感染リスクを低減させる行動を心がけましょう。

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、**災害時には、危険な場所にいる人は、避難することが原則です。**

知っておくべき5つのポイント

- 避難とは[難]を[避]けること。**安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。**
- 避難先は、小中学校・公民館だけではなく、安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
- **マスク・消毒液・体温計が不足しています。**できるだけ自ら携帯して下さい。
- 避難所では、避難所スタッフが**分散避難**についてお願いする場合があります。
- また**健康チェック**も行います。
- 豪雨時の屋外の移動は**車も含め危険**です。やむをえず**車中泊**をする場合は、浸水しないよう**周囲の状況等を十分確認**して下さい。

球磨村役場 広報課



# 防災学習 (R1.12.1)



球磨中生徒への全体教育



トリアージ終了に伴い負傷者を搬送



住民避難



患者の応急手当

## 山江村の取り組み

- 防災活動の着実な実施・連携体制の構築にかかる事項
  - ・ 関係機関が連携した防災会議や訓練：R
  - ・ 若い世代を含む幅広い年齢層が参加できる防災会議：O

山江村における取組内容

# 山江村防災連絡会議



1 日時 : 令和元年5月31日

2 場所 : 山江村農村環境改善センター



山江村における取組内容

# 自主防災組織活性化会議



【第1行政区自主防災組織防災講習会】

- 1 日時: 令和元年11月13日
- 2 場所: 合戦峰公民館
- 3 参加者: 地域住民、消防団員



山江村における取組内容

# 山江村消防団（水防団）訓練



- 1 日時 : 令和元年11月10日
- 2 場所 : 山江村役場駐車場
- 3 内容 : チェンソー・ロープ結束訓練



## 相良村の取り組み

- 地域と連携した排水活動及び訓練、施設運用に関する取組
  - 各市町村で整備している避難所について現状を確認し、拡充の必要等を検討する：A

# 感染症対策を踏まえた避難所設営訓練

※令和2年 6月8日 人吉新聞（日刊 7面）引用



間仕切りを設置する相良村職員ら

## 段ボールで間仕切り

### 相良村の指定避難所 区長ら組み立て訓練

相良村は5日、災害時などの避難所指定されている高岡村移住センターで避難所設営訓練を行った。感染症対策で使用する段ボール製の間仕切りを相良村

期避難時に住民のフライングシートを配るため、午前10時から午後3時までの間、職員らが訓練を行った。新型コロナウイルスの感染防止対策を行うことから、間仕切りを

職員や区長ら5人が参加し、3時分かれて午前5時から1時間ずつ実施。単班の訓練では日産後二級事務課長が「災害時の避難し極力、間仕切りの設置手順を学ぶことは

参加者は、部員入った段ボールケースは箱を運び出し、十のパーツを組み合わせ、部分を組み立てて高さ1メートルのパネルを連結した。コーナー等の接合部分をし、かり指定

し、も乗分のスペースを10倍確保。思や火気に強い、臭で耐える恐れがある。補強や隙間をふさぐには、フラットナーを使用するといった注意も述べた。また、協力し、分を組立てた。なお、間仕切りは同村総合庁舎に収納し、村林業センターに20部を保管している。